

広報たかなべ

2016. 5. 27 NO. 400



- ・特集 特定健診は毎年の受診が大事です
- ・災害時や福祉の拠点施設として
- ・高鍋大師花守山工事完成
- ・「高鍋町史 続編」が完成しました
- ・平成28年度 高鍋町一般会計当初予算
- ・再編交付金で学校施設が整備されました
- ・平成27年度 たかなべ未来づくり事業報告
- ・平成28年度 高鍋町消防団幹部・部長のみなさん
- ・高鍋町第1回景観賞受賞者決定
- ・平成28年 熊本地震義援金を受け付けています
- ・平成28年度 高鍋町行政事務連絡員を紹介します
- ・地域発展に向けて連携協力
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

「おはよう！」先生のあいさつに笑顔の1年生

今年、本町の小学校には197人の子どもたちが入学しました。高鍋東小学校に登校時の様子を撮影に行くと、新緑の木々の中を上級生のお兄さん、お姉さんと一緒に元気に登校する1年生の姿が見られました。先生やお友だちと一緒に楽しい学校生活を過ごしてくださいね。

特集

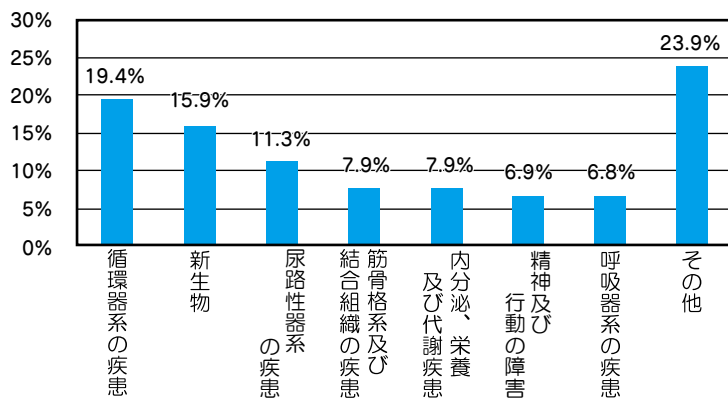
特定健診は毎年の受診

が大事です



「健康には自信があるから健診なんて関係ない！」
 「仕事や家庭が忙しいからまた今度…」
 このような理由で特定健診を受けていないという方はいませんか？
 仕事や家庭のことをがんばれるのは、今が健康だからこそ。
 自覚症状がなくても、病魔が体の中に潜んでいるかもしれません。
 特定健診は、生活習慣病の発症や重篤化を予防・改善するための健診です。

図Ⅰ 平成26年度 高鍋町大分類別医療費の割合(入院+外来)



図Ⅱ 平成26年度 高鍋町疾病別医療費等 ※順位:26市町村中

| 疾病名 | 件数 | 費用額(円) | 1人当たり費用額(円) | 順位 | 1件当たり費用額(円) | 順位 |
|--------|------|------------|---------------|--------|-------------|----|
| 虚血性心疾患 | 高鍋町 | 42,155,970 | 6,614 | 9 | 89,313 | 3 |
| | 宮崎県計 | 32,563 | 2,173,617,990 | 6,691 | 66,751 | |
| 高血圧性疾患 | 高鍋町 | 10,487 | 135,610,980 | 21,276 | 12,931 | 3 |
| | 宮崎県計 | 530,104 | 5,710,912,530 | 17,580 | 10,773 | |
| 腎不全 | 高鍋町 | 306 | 118,769,490 | 18,633 | 388,136 | 3 |
| | 宮崎県計 | 15,668 | 5,195,731,720 | 15,994 | 331,614 | |

特定健診の目的

食べ過ぎ、運動不足、喫煙、過度な飲酒などの生活習慣は改善しづらいものです。

このような生活習慣の積み重ねにより、自覚症状のないまま進行するものが「生活習慣病」で、ある日突然、脳梗塞や心筋梗塞などの病気を招くことがあります。

特定健診・特定保健指導は、生活習慣に起因する高血圧症や脂質異常

症、糖尿病、肥満などの予防や改善、さらに病気の早期発見、早期治療を目的に行われています。

国保医療費の状況

町の国民健康保険被保険者数約6千人(平成26年度末現在)の医療費の割合を見ると、心臓や血管などの循環器系の病気にかかるものが一番多いことが分かります。(図Ⅰ)

循環器系の代表的な病

気には、虚血性心疾患(注1)や脳血管疾患(注2)が挙げられ、この内、本町における虚血性心疾患の医療費等を県全体と比較すると、一件当たりの費用額は、2万円以上も高いことが分かります。(図Ⅱ)これは、症状が進んでから病院を受診したことにより、医療費の負担が大きくなったことが原因と考えられます。

虚血性心疾患や脳血管

◆お問い合わせ 健康保険課 国保・高齢者医療係 TEL: 26-2007

疾患は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの「生活習慣病」が基礎疾患となっている事例が多く見られます。糖尿病は、合併症による糖尿病性腎症、慢性腎不全、人工透析の原因となり（図Ⅰの尿路性器系の疾患）、日常生活全般にも大きな影響を及ぼします。

本町の虚血性心疾患や高血圧症疾患、腎不全は、すべて県内で3位という高位に位置し（図Ⅱ）、医療費全体を押し上げる要因となっています。

健診を受けないことでの影響

特定健診を受けないことは、自分の健康状態を知る機会や生活習慣を改善する機会を失うこととなります。

また、重症化してからの受診は、医療費を増幅させ、保険税を押し上げる原因となり、皆さんの家計の負担を大きくします。

健康で安心な生活を送るために、自分の体のことを知り、生活習慣を見直す機会を作るためにも、毎年、特定健診を受診しましょう。

注1 虚血性心疾患

冠動脈が動脈硬化などの原因で狭くなったり、閉塞したりして心筋に血液が行かなくなること（心筋虚血）で起こる病気。

注2 脳血管疾患

脳動脈の異常が原因で起こる病気の総称。脳梗塞や脳出血、クモ膜下出血などの脳卒中が代表的な病気。

| | | |
|---------------------------|---|--|
| 対象 | 4月1日現在、国保に加入している人で、40歳～74歳の人（H29年3月31日までに40歳になる人を含む） ※定期的に医療機関に通院中の方も対象です。 | |
| 健診内容 | 問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、診察、血圧測定、尿検査、心電図検査、血液検査（脂質・血糖・肝機能・腎機能・貧血） | |
| 健診方法 ※受診できるのはどちらかひとつです | ①集団健診 自己負担額 無料 〔実際にかかる費用〕 7,668円 | 今年度は6月・7月・1月・2月に11日間実施します。 ※受診には申し込みが必要です。 |
| | ②個別健診 自己負担額 無料 〔実際にかかる費用〕 8,960円 | 集団健診を受けられない方は、町内の指定医療機関にて個別に健診が受けられます。 ※必ず事前に電話等で予約をしてください。 |



特定健診・特定保健指導の流れ

特定健診を受ける

保険証の発行元から案内を受けて、健診を受けます。町は、国保加入者への健診を実施しています。社保加入者の方は勤め先に確認してください。

健診結果を受け取る

健診結果と同時に、生活習慣病改善のヒントとなるような情報が提供されます。

特定保健指導を受ける

健診の結果、生活習慣病のリスクが高いと判断された方には、特定保健指導の案内が届きます。リスクに応じて、改善に向けた相談を保健師や栄養士が行います。

健康づくりを継続

保健指導が終わっても健康づくりを継続し、次回健診で体の変化を確認しましょう。

♪集団健診を受けられる方にお得情報♪

- 今年度から胃がんリスク検診（ABC検診）が受けられます。（自己負担金1,000円）
※ピロリ菌を除菌したことのある人、胃切除後の人、胃の定期検査や治療をしている人等は対象になりません。
- 節目の年齢（5歳刻み40歳、45歳、50歳…70歳）の方は特定健診と併せて超音波検査（頸動脈・腹部）が受けられます。
※1日15人限定：申し込み必要・自己負担金1,000円
- 胃がん検診（バリウム検査：自己負担金1,000円）、大腸がん検診（便潜血検査：自己負担金500円）、歯科検診（むし歯・歯周病検査：無料）が一緒に受けられる日があります。
- 特定健診を受けると、まいづるカードのポイントがその場で20ポイント付きます。

「めいりんの湯無料保養券」を使用する後期高齢者の介助者1名の入湯が300円減額されます

本町では、後期高齢者医療保険制度に加入している方を対象に「めいりんの湯無料保養券」を交付していますが、一人で温泉に入浴するのが困難で介助を必要とする方もいます。

そこで、介助者の方の金銭的負担を軽減するため、入湯料の一部を減額します。

注意点

- 町長が発行する「めいりん湯無料保養券」を使用して温泉に入浴する方の介助を目的とします。
- 減額の対象となる介助者は1名です。
- 減額は1回につき300円です。
- 介助者の減額を希望する方は、めいりんの湯窓口で手続きをお願いします。



災害時や福祉の

拠点施設として

町が役場本庁舎北側に建設を進めていた別館がこのほど完成しました。

事業費2億1,615万円をかけて建設された2階建ての別館には、1階に社会福祉協議会の地域包括支援センターと障がい者(児)等基幹相談支援センターが入居し、役場の福祉関係課と隣接したことで、町民の方が効



新設された庁舎別館

率よく利用できるようになりまし。また、2階には建設管理課が入居し、1階には同課が災害時に使用する機材や看板などを納めた倉庫を備え、緊急時に速やかに運び出せるようになっています。

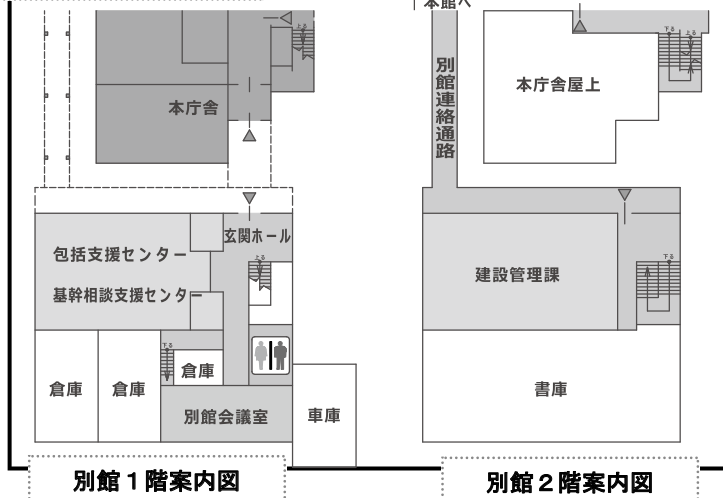


2階 建設管理課

1階 地域包括支援センター・障がい者(児)等基幹相談支援センター



庁舎別館案内図



別館1階案内図

別館2階案内図

高鍋大師花守山

石像を季節の花々が彩る癒しの丘

工事完成

宮崎観光遺産の一つである高鍋大師を四季折々の花木で彩ろうと進めてきた花守山整備事業が完成しました。

この事業は、口蹄疫復興ファンドの補助金を活用し、募金なども含めて総額約1億3千万円、4年間をかけて花木の植樹や多目的広場、遊歩道、公衆トイレなどの整備を行いました。

高鍋大師に植樹された花木は、約850本。冬から春にかけては、サククラやハナモモ、アンズなど優しいピンク系の花が中心となって開花し、梅雨の時期にはさわやかな青系のアジサイの花が斜面を彩ります。また、秋には、斜面に約9万個植栽されたヒガンバナが咲き、赤色に染められた高鍋大師を楽しむことができます。

3月13日、花守山の完成を祝う記念式典「花守山ふえすてい春(ぼる)」が高鍋町観光協会主催で行われ、関係者や地元住民の方など、約550人が参加し、高鍋大師への思いの継承とともに、さらなる発展を誓いました。

式典では、同協会の黒木敏之理事長が「この地を個性豊かな癒しの丘として整備してきました。これからも花を植え続け、多くの人に親しまれる場所にしていきたいです」と話しました。

式典後、日向灘に向けて設置された高鍋東西中学校、高鍋高校の吹奏楽部、川南町モーツァルト音楽祭の出演で知られるアマデウス吹奏楽団による合同演奏などが行われ、式典に花を添えました。



野外ですばらしい演奏を披露してくれた吹奏楽部等の皆さん



式典であいさつをする黒木理事長



式典当日、ヒガンバナの球根を植栽する参加者